タッチラグビー　ジャパンカップ東海北陸大会

一流の突進 巧み

果敢に攻め込む越前がにピンキーズの選手＝9日、福井市日野川浄化センター芝生広場

初の本県開催　全国懸け11チーム

地元から「越前がにピンキーズ」

第1回大会は9日、福井市日野川浄化センター芝生広場で開かれた。本県唯一の愛好者チーム「越前がにピンキーズ」をはじめ県内外から11チーム、約130人が出場。11月に東京で開かれる全日本選手権の出場権を懸け、スピーディーな試合を繰り広げた。（山内弘司）

「貴重な経験 今後に」

メンズオープン（年齢制限なし）の部は10チームが総当たり戦を行った。ニュージーランド元代表など一流のプレーヤーも参戦し、巧みなステップワークを披露した。また大学生チームが若さを武器に持久力を発揮。男性に交じって奮闘する女性選手の姿も見られた。

越前がにピンキーズは1分け8敗と振るわなかった。荒井章宏代表は「速さとパスの正確さにほんろうされっぱなしだった」と振り返る一方「競技歴の浅い選手が多い中、貴重な経験ができた。今後に生かしたい」と前向きに話した。

優勝はBcrows（愛知）が果たし、全日本出場を決めた。

「越前がに」は結成した2008年以来、毎秋に県内で中部北陸交流戦を主催してきた。それがジャパンタッチ協会の目に止まり今回、初めて本県で東海北陸大会が開かれることになった。

前日の8日と大会前には競技人口の普及拡大を目的に、同協会の専門員らによる初心者講習が行われた。

◆…本県勢の成績…◆

愛知ペアーズ（愛知）5－0越前がにピンキーズ
狛江タッチ（東京）5－0越前がにピンキーズ
Bcrows（愛知）3－0越前がにピンキーズ
越前がにピンキーズ 1－1 HI－TOUCH（京都）
金沢タッチ（石川）1－0越前がにピンキーズ
PUG（徳島）2－1越前がにピンキーズ
トライヤーズ（大阪）1－0越前がにピンキーズ
PSIコストカッツ（東京）2－0越前がにピンキーズ
SBT（東京）1－0越前がにピンキーズ

福井の食材を使った多彩な料理が振る舞われたランチ

福井の食アピール

○…ランチタイムには越前がにピンキーズのメンバーと家族らが作った福井の特産品を使った料理が振る舞われた。県外から訪れた選手たちは、焼きサバやソースカツ、越のルビー、サトイモの煮っ転がしなどに笑顔で舌鼓を打った。

「県外選手に福井の良さを知ってもらおう」と中部北陸交流戦を始めた2008年以来、続けている。厚揚げ、サラダ、へしこのほか、甘エビとらっきょう、もみわかめのマヨネーズあえなど工夫を凝らした料理など多彩な30品を並べた。

「福井の大会は手厚い"接待"があるよ」との評判が広がり、大阪市の鵜塚重利さん、明子さん夫妻＝ともに(47)＝は個人参加。「めちゃめちゃうれしい、おもてなし。こんなおいしい接待を受けるのは初めて」とにっこり。選手たちは、しばし熱戦を離れて福井の食を満喫していた。